

競 技 注 意 事 項 (ユニバー会場)

1 競技規則について

本記録会に適用する規則は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会規定により行う。
 なお、WA規則143条（TR5:シューズ）を適用するので、「規定外シューズ」の使用は失格となる。

2 練習について

- (1) 練習はサブトラックを使用し、係員の指示に従うこと。ただし、投てき練習は一切禁止する。
 * 芝生内は立ち入り禁止とする。
- (2) フィールド種目の練習は、最終招集完了後に競技役員の指示により競技場内で行う。

3 招集について

- (1) 招集所（1次招集）は、Cゲート東側に設ける。
- (2) 種目別の1次招集完了時刻と最終招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載している。
- (3) 招集の手順
 - ① 1次招集完了時刻までに招集所に掲示するエントリーリストに○印をつける。その際、アスリートビブス、スパイク・ランニングシューズの点検を受け、腰ナンバーカードを受け取る。なお、長距離種目の別ナンバーは最終招集時に配付する。
 * スパイクピンの長さー走高跳・やり投 12mm以内 その他 9mm以内
 * ランニングシューズのソールの最大の厚さ
 800m未満のトラック種目：20mm以内 800m以上のトラック種目：25mm以内
 - ② 最終招集完了時刻にトラック競技は各種目のスタート付近、フィールド競技は各種目の待機場所において点呼を行う。
 - ③ 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイク等の検査）を受けておくこと。
 - ④ 最終招集完了時刻に遅れた競技者は、出場出来ない。
 - ⑤ 当該種目を欠場する者は、あらかじめ棄権届を競技者係に提出すること。
 * 多種目同時出場届、欠場届は、招集所備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技
 - ① レーンは、プログラム記載番号順とする。
 - ② 競技運営上、男子 1500m=6分、5000m=20分、3000mSC=13分、女子 1500m=7分、3000m=15分で競技を打ち切る場合がある。
- (2) 別ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点のナンバーカード係に返却すること。
- (3) フィールド競技
 - ① 試技順は、プログラム記載番号順とする。
 - ② 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	1組	練習 1.25 / 1.50	1.30-1.35-1.40・・・1.85-1.88-1.91	以後3cmずつ
	2組	練習 1.60 / 1.80	1.65-1.70-1.75・・・1.85-1.88-1.91	以後3cmずつ
女子走高跳	1組	練習 1.10 / 1.30	1.15-1.20-1.25・・・1.55-1.58-1.61	以後3cmずつ
	2組	練習 1.35 / 1.55	1.40-1.45-1.50・・・1.55-1.58-1.61	以後3cmずつ
男子・女子 棒高跳	1組	練習 1.80~3.40	1.90-2.00-2.10・・・	以後10cmずつ
	2組	練習 3.20~4.90	3.40-3.50-3.60・・・	以後10cmずつ

5 競技用具について

- (1) やり・ポール以外は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。この場合共用となる。
 検査時刻 第1日（10日）女子ー11:20~11:40 男子ー13:10~13:30
 検査場所 フィニッシュ地点側器具庫
- (3) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の点検を受け自己のポールを使用する。

6 その他

- (1) 記録証明書を希望する者は、1種目につき500円を添えて庶務係まで申し出ること。
- (2) ゴミは、各自で持ち帰ること。